



浦島伝説

令和4年10月11日

第20号

生徒会役員決定 自分の役割を果たそう

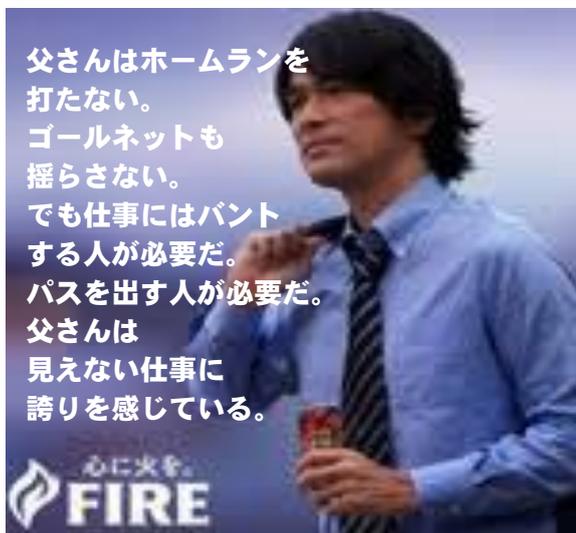
役職	学年	氏名
会長	2年	池田 悠聖
副会長(男子)	2年	田坪 夢生
副会長(女子)	2年	武下 莉愛
2年役員		瀬野 夢斗
		藤井 檜向
1年役員		渡邊 奏稀
		内田 千聖

10月5日(水)、生徒会役員立候補者立会演説会と投票が行われ、左の表のように生徒会役員が決まりました。

立会演説会では、立候補者と応援演説者が詫間中学校をさらによくしていくための決意を立派に語ってくれました。個性豊かな演説は、とても興味深く、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

さて、生徒会役員や学級委員はリーダーとなり集団の先頭に立ってみんなを引っ張っていく役割がありますが、それ以外のみなさんにも、一人一人役割があります。学級の係はもちろん、一人一人の存在が、学級の中で何か「役割」を受け持っているのです。その「役割」は、目に見えないかもしれません。直接誰かの役に立たないかもしれません。

もう7年くらい前に、テレビで、左の写真のような缶コーヒーのCMが流れていました。カッコいいと思いませんか。「仕事」を「学校」や「部活動」に置き換えても、ぴったり当てはまります。残念ながら、全員が大谷翔平選手のようなエースで4番にはなれません。メッシ選手のようなエースストライカーになれるわけではありません。でも、集団(チーム)で戦うスポーツでは、必ず一人一人に「役割」があります。ベンチから大声で応援する人、荷物を運ぶ人、スコアを書く人が必要です。大谷翔平選手が9人の野球チームやメッシ選手が11人のサッカーチームは勝てるでしょうか?ここに集団(チーム)スポーツの魅力、面白さがあります。



世の一隅^{*}を照らす灯りとなれ

※「いちぐう」=かたすみ

上の話の続きです。世の中にあるほとんどの仕事や役割は、決して太陽や月のような華々しいものではありません。照明や灯(あか)りに例えると、蛍光灯(けいこうとう)にさえならないでしょう。暗闇の中にぽつんと光る小さなローソクくらいの灯りのような存在かもしれません。昼間なら誰もその存在に気付かないけど、暗闇(くらやみ)の中では、周囲をほのかに照らすだけでなく、人々の心に安心や希望を与える灯りとなる、そんな存在です。

最澄(さいちょう)という偉いお坊さんは、「国家にとって、お金や地位や高級な持ち物は宝ではない。家や地域など、自分が今居るその場所で、精一杯努力し、明るく光り輝くことのできる人こそ、何物にも代えがたい貴い国の宝である。一人一人がそれぞれの持ち場で全力を尽くすことによって、社会全体が明るく照らされていく。世の一隅(いちぐう=かたすみ)を照らす人となれ」という内容の言葉を残しています。

「人の心の痛みがわかる人」「人に対して優しさや思いやりがもてる人」は、暗闇の中を手探りで生きる人にとっての「一隅を照らす灯り」です。人工知能(AI)やロボットがいくら発達しても、決してとって代わられることのない存在です。

三観地区新人大会の記録

ソフトテニス(10月8・9日)

男子団体	予選リーグ敗退			
個人	県大会出場	池田	梓月・田坪	夢生
	県大会出場	詫間	煌晟・田坪	琉生
女子団体	予選リーグ敗退			
個人	県大会出場	真鍋	星凧・武下	莉愛
	県大会出場			

新体操(10月9日)

個人総合A	4位	石井 美月、5位	石井 月恵
-------	----	----------	-------